

3 横浜市寿町健康福祉交流センターの管理運営

横浜市寿町健康福祉交流センターは、寿地区の保健医療の充実を図るとともに寿地区の住民をはじめとする市民の健康づくりや介護予防に取り組むとともに自立した生活の支援を通して生活環境の向上を推進し、さらには市民の社会参加を促進して市民相互の交流を深め、もって福祉の向上に寄与するために設置された施設です。当協会は、同センターの指定管理者としてセンターの諸機能を有効に活用して、利用者の利用に供するとともに各種事業を実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市の指導等により施設の使用制限や事業の休止、閉館時間の繰り上げ、施設の換気、消毒の措置を講じています。また、利用者には検温、マスクの着用、手指の消毒、利用票の一定期間の保管などに御協力をお願いしております。

(センター諸室の閉館時間等状況)

令和4年1月21日～6月5日：午後8時で閉館 令和4年6月6日～：午後9時で閉館

◆センター施設概要

名称	横浜市寿町健康福祉交流センター		
所在地	横浜市中区寿町4丁目14番地		
敷地面積	2,647.82 m ²	建築面積	1,628.81 m ²
延床面積	2,529.94 m ² (1階736.60 m ² 、2階1,457.69 m ² 、地下335.65 m ²)		
広場面積	約700 m ²		
施設全体	構造	鉄筋コンクリート造 地上9階地下1階(3～9階市営住宅) 高さ30.8m	
	延べ面積	7,685 m ² (福祉施設2,530 m ² 、市営住宅5,155 m ²)	
	用途	福祉施設 1・2階 地階 屋外 市営住宅 1階(玄関、集会室) 3～9階 80戸	
施設内容	<p>【1階】多目的室、作業室、調理室、ラウンジ、図書コーナー、管理人室他</p> <p>【2階】診療所、精神科デイケア、健康コーディネート室、活動・交流スペース、一般公衆浴場、授乳室、事務室等、横浜市ことぶき協働スペース(指定管理外)</p> <p>【屋外】広場、スロープ、駐車場(5台)、利用者駐輪場、屋外トイレ、防災備蓄倉庫他</p> <p>【地下】 機械設備室</p>		

予約が必要な施設	<p>【1階】多目的室（約110㎡）※ 作業室（約30㎡） 調理室（約20㎡） ※個人利用の時間帯や予約がない場合は、自由に利用できます。</p> <p>【2階】活動・交流スペース（約90㎡） ※会議室は2室に分離できます。オープンスペースはミニ打合せ等で自由に利用できます。スペース内には、会議室2室含まれます。</p>
設備	エレベーター、太陽光パネル、広場防災用トイレ他

◆センター施設の貸出

対象者	寿地区の住民をはじめとする市民相互の交流を推進して、市民の健康づくりや介護予防、自立支援等、健康福祉の向上を図るための様々な活動をしている団体等です。なお、貸出施設以外の施設は誰もが自由に利用できます。														
対象施設	①多目的室、②調理室、③作業室、④活動・交流スペース（会議室1、会議室2含む）。 ※調理室は、多目的室・調理室と一体で利用することもできます。														
貸出区分	貸出の単位は3時間ごとの区分とします。 ①午前 午前9時から午後0時まで ②午後1 午後0時から午後3時まで ③午後2 午後3時から午後6時まで ④夜間 午後6時から午後9時まで ※日曜日・祝日の「午後2」の区分は、午後5時まで、夜間区分はありません。														
利用料	無料														
目的外使用	<p>地域住民による健康活動や福祉活動及びこれらの活動を通して住民相互の交流を図るために交流センターを利用しようとする活動以外の目的であるものの、条例及び要綱の範囲内の使用であり、所定の目的外使用料を支払うことで交流センターを使用することができます。</p> <p>【一区分あたりの目的外使用料金】</p> <table border="0"> <tr> <td>①1階多目的室</td> <td>1,530円(1,020円)</td> </tr> <tr> <td>②1階調理室</td> <td>330円(220円)</td> </tr> <tr> <td>③1階作業室</td> <td>420円(280円)</td> </tr> <tr> <td>④2階活動・交流スペース(会議室1)</td> <td>300円(200円)</td> </tr> <tr> <td>⑤2階活動・交流スペース(会議室2)</td> <td>420円(280円)</td> </tr> <tr> <td>⑥2階活動・交流スペース全室*</td> <td>1,380円(920円)</td> </tr> <tr> <td>⑦駐車場</td> <td>600円/台(400円/台)</td> </tr> </table> <p>()内は日曜祝日の「午後2」の区分のみ適用されます。 ※「活動交流スペース全室」とは活動交流スペースの一体利用の場合で枠数としては2枠としてカウントします。</p>	①1階多目的室	1,530円(1,020円)	②1階調理室	330円(220円)	③1階作業室	420円(280円)	④2階活動・交流スペース(会議室1)	300円(200円)	⑤2階活動・交流スペース(会議室2)	420円(280円)	⑥2階活動・交流スペース全室*	1,380円(920円)	⑦駐車場	600円/台(400円/台)
①1階多目的室	1,530円(1,020円)														
②1階調理室	330円(220円)														
③1階作業室	420円(280円)														
④2階活動・交流スペース(会議室1)	300円(200円)														
⑤2階活動・交流スペース(会議室2)	420円(280円)														
⑥2階活動・交流スペース全室*	1,380円(920円)														
⑦駐車場	600円/台(400円/台)														

◆センター登録団体及び事前予約

登録団体	横浜市寿町健康福祉交流センターにおいて活動を行う団体は、事前に団体登録を行っていただき、登録区分に応じた活動としてセンターを利用できます。
登録区分	<p>団体登録区分は、次の3区分に分かれています。</p> <p>①健康福祉交流団体 市民の健康づくりや介護予防、または、福祉支援を必要とする地域住民の自助活動、支援活動、若しくは地域の支えあいを目的とした住民相互の交流活動に直結し、健康福祉交流活動の担い手として活動する団体。</p> <p>②健康福祉協力団体 自らの生活環境等の向上のために活動している団体であって、健康福祉交流活動、地域貢献活動等のためのボランティア活動を実施する団体。</p> <p>③その他の団体 目的外団体及び未登録団体。</p>
団体登録の有効期限	登録した日から3年間有効とします。継続して登録する場合には有効。期限満了日までに、団体登録書の更新をご案内します。
事前予約	<p>登録を行っていただいた団体は、登録区分に応じて、優先的に事前予約ができます。電話予約も受け付けていますが、正式な利用申請書の提出していただきます。</p> <p>【事前予約受付可能日及び利用枠数】</p> <p>①健康福祉交流団体 2か月前の1日から 上限3枠まで</p> <p>②健康福祉協力団体 1か月前の1日から 上限2枠まで</p> <p>③その他の団体 利用日から起算して30日前から 上限はありませんが横浜市の許可が必要となります。 ※利用枠数とは、貸出区分ごとに原則1施設</p>
登録団体数	65 団体
優先利用	横浜市が、健康福祉交流推進のために交流センターを利用しようとするときは、優先的に利用します。

(1) 診療所（公益目的事業2）

地域医療を支える診療所として患者に寄り添い、予防し、治し、支える医療を様々な面から提供しました。

◆ 診療概要、利用内訳等

診療科目	内科、精神科(精神科デイケア含む)		
診療日	月曜日～金曜日(開所日数 241日)		
休診日	土曜日、日曜日、祝日、12月29日～1月3日		
診療時間	午前 9時30分～12時30分 午後 2時00分～6時00分		
精神科デイケア	月・水・金曜日 午前10時～午後4時		
院内薬局	月～金曜		
延利用者	18,326人 1日平均 約76人	内科 精神科 デイケア	11,299人 5,615人 1,412人
診療所スタッフ (令和5年4月1日)	医師9名、外来看護師5名、訪問看護師2名、薬剤師2名、放射線技師3名、医療ソーシャルワーカー2名、作業療法士2名、医療事務4名、事務職4名、アルバイト2名 計35名		
訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が、精神科患者で通院が困難な方へ、心身の状態や服薬など在宅での状況を確認し医療的ケアを行う。 ・訪問看護師2名、訪問件数 1,879件 		
医療福祉相談 (年度合計)	<ul style="list-style-type: none"> ・受診問題(受診相談、初診面接等) 1,855件 ・関係機関調整(病名・病状、療状況等) 1,042件 ・生活問題(就労、住居等) 134件 ・経済問題(医療費、生活費用等) 156件 ・その他(はまかぜ健診、福祉制度利用等) 770件 合計 3,957件 		
保険種別 (年度合計)	生保 16,910 国保 313 後期高齢 219 日雇 0 健保 255	自費 85 特別診療 7 はまかぜ健診 258 健康診査 279 労災 0	合計 18,326

【新規拡充等の取り組み】

① 内科二診体制への変更

平成23年から11年間診療所長を務められた医師が令和3年度をもって退任されるため、後任の診療所長の選定と、今後の内科診療体制をどうしていくかが課題でした。これに対し、横浜市立大学医学部と令和5年度から共同研究契約を締結し、連携することで、今後の医師確保に努めることとしました。また患者の待ち時間の短縮と、医師の負担を軽減し診療内容の充実に資することを

目的として、原則常時医師 2 人の内科二診制となりました。

② 発熱外来受け入れへの積極的な取り組み

令和 4 年度はコロナウイルスの第 6 波・第 7 波があり、近隣の医療機関でも発熱外来を希望する患者でひっ迫するなか、内科二診制の強みを生かし、他の医療機関を受診できなかった患者を積極的に受け入れました。

(2) 健康コーディネート室（公益目的事業 2）

地域住民が日常生活において無理なく、楽しみながら実践でき、健康づくり・介護予防につながる活動を推進するとともに、その活動を支援する環境づくりを進めていきました。

① 健康づくり・介護予防の推進

ア 健康教室（介護予防教室）の実施

・寿 de 健康クラブ

全 22 回 参加者 254 人

イ ノルディックウォーキング体験会参加者支援（毎週金曜日）

ウ ことぶき食堂 1 回 参加者 18 人（新型コロナ感染再拡大にて中止）

エ ミニクッキング 19 回 参加者 201 人（試食なし、説明のみ）

オ 健康講座・出前講座の開催 31 回 参加者 352 人

② 個別健康支援

ア 各種健康測定機器等を活用した健康チェック 13,648 人

イ 個別生活改善支援 訪問回数 117 回・来室相談面接数 7,374 人

ウ 出張健康相談：生活館 49 回 621 人

③ 寿地区健康づくりサポーター育成

ア 育成講座の開催（④ーイ・ウと重複）

イ 団体・事業所等訪問による健康づくり支援（②ーウと重複）

④ 関係機関・団体との地域ネットワークの構築

ア 寿地区健康コーディネート連絡会の開催

開催回数：2 回（6 月・11 月）

参加機関：中区福祉保健課、高齢・障害支援課、生活支援課、不老町地域ケアプラザ、寿福祉プラザ相談室

イ 寿地区障害者作業所等交流会の継続開催及び実務者連絡会の新設

【交流会】

開催回数：4 回（4・7・10・1 月）、参加機関：15 事業所・中区福祉保健センター・市社協・寿福祉プラザ相談室・中区地域活動ホーム

【実務者連絡会】

開催回数：12回、参加機関：上記と同じ

- ウ 寿地区簡易宿泊所管理者・介護事業所情報交換会：2月実施
- エ ことぶきゆめ会議への参画

⑤ 健康づくりの普及啓発

- ア 広報紙・ホームページ等の活用による事業広報の強化
- イ わかりやすく活用できる教材づくり
- ウ 寿町健康福祉交流センターまつり 11月開催
- エ 心の健康のための交流事業（ワークショップ）11月10日～12日

◆施設概要

開室日時	月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで
休日	土曜日、日曜日、祝日および12月29日～1月3日
スタッフ	4名（室長含む）
各種機器・設備	体組成計測定器、血圧計、各種フードモデル、血中酸素濃度測定器、握力計、ラダー等
延利用者	21,022人

(3) 一般公衆浴場（収益事業1）

一般公衆浴場は、地区の住民の生活環境の公衆衛生の向上、健康づくり・介護予防のためにも必要不可欠な施設です。また、単身生活者の住民がふれあい交流できる場の一つでもあります。

当協会は、旧寿町総合労働福祉会館において、42年間一般公衆浴場を営業してきました。旧会館を閉鎖した平成28年3月末から一時、休業していました一般公衆浴場「翁湯」を、センター開所に合わせ、令和元年6月1日から再開しました。再開にあたっては、横浜市浴場協同組合と協議し、協力（一部業務の委託）を得て運営しています。

① 委託業務の内容

安全確認を含む受付業務、清掃及び衛生管理業務、設備機器管理業務

② サービスの向上

- ア 横浜市浴場協同組合と連携し、季節のあるサービスを実施（菖蒲湯、柚子湯等）
- イ 健康器具（血圧計、体重計等）を設置

③ 広報

協会機関紙「いぶき」でのPR、正面に横断幕、のぼり旗等の設置

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午後1時から午後9時まで
休日	日曜日及び元旦
入浴料金	大人490円、中人（6歳以上12歳未満）200円、 小人（未就学児未満）100円
物販品	タオル、石鹸、飲み物等
アメニティ	体重計、血圧計等
延床面積	約200㎡（脱衣室、洗い場・浴槽含む）
延利用者	24,437人

(4) 諸室の管理及び活用

感染拡大防止のため、定期的な換気、消毒とともに、定員の半数程度を上限として、利用に供しました。

【1階】

① ラウンジ（公益目的事業1）

ラウンジを数区画に分け、諸室との連携を考えながら、住民のニーズに沿った異なる機能を持たせています。また、総合的イベントや地域行事ではラウンジ・諸室・広場を一体的に利用いただけます。

また、相談窓口としての機能を高める視点から、半円形でラウンジ全体を見渡せる新設のカウンターを中央寄りに設置しています。

ア 飲食コーナー

電子レンジやポットなどを提供し、軽飲食ができるコーナーとして利用されました。

イ 娯楽コーナー

人気の高い囲碁・将棋コーナーについては、感染拡大防止のため、台数を減らしています。

ウ テレビコーナー

60インチの大型液晶テレビを設置し、常時放映しています。

また、月に1度程度、映画3本立ての上映（コトキネ）を行いました。

エ 情報コーナー

行政広報資料や地域関係機関団体等の情報資料を提供しました。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日および12月29日～1月3日
施設貸出	対象外
利用方法	個人利用（利用登録なし）
アメニティ	液晶テレビ、囲碁、将棋セット（貸し出し休止中）、電子レンジ、ポット等
延床面積	約320㎡
延利用者	24,700人

② 図書コーナー（公益目的事業1）

各種図書を備え、読書の場を提供しました。

貸出カウンターは、相談窓口としての機能も付加するため、半円形でラウンジ全体を見渡せる形状としています。（①再掲）

また、本の閲覧・貸し出し、新聞の閲覧の他にも、様々なアート作品を展示するなど居心地の良い空間を提供するようサービス向上に努めました。

【継続事業】

ア 図書コーナーだよりの発行（年4回発行）

季節に合わせたテーマの本や、職員のお勧め本などを紹介しました。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日及び12月29日～1月3日
受付	スタッフ1名常駐
施設貸出	対象外
利用方法	個人利用（図書貸出は登録制）
アメニティ	各種図書（約8,600冊）、カードシステム（バーコード式）、 血圧計・体重計等
延床面積	約70㎡
延利用者	34,123人

③ 多目的室（公益目的事業1）

軽運動や会議、講座、研修など幅広い用途で利用されました。隣接している作業室や調理室と連動した催しも行っています。なお、感染拡大防止の観点から、卓球など自由利用は休止しています。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日及び12月29日～1月3日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用の他、個人利用の時間帯を設ける（個人利用は、現在休止中）
アメニティ	テーブル・椅子、映像・音響機器、大型スクリーン、卓球台・卓球セット、ヨガマット、運動用具等
延床面積	約110㎡
延利用者	15,316人

④ 作業室（公益目的事業1）

工作物を製作等の軽作業の他、打ち合わせ等にも利用されました（利用人員は8人程度）。隣接している多目的室や調理室と連動した催しも行っています。（個人利用はできません）

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日および12月29日～1月3日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用
アメニティ	作業台、椅子、工具セット、アイロン、ミシン等
延床面積	約30㎡
延利用者	2,852人

⑤ 調理室（公益目的事業1）

調理台や調理器具などを取り揃えており、料理教室や栄養講座の開催などの用途で利用できます。（利用人員は5～6人程度）隣接している多目的室や作業室と連動した催しも行えます。（個人利用はできません）

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日および12月29日～1月3日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用
アメニティ	調理台、各種調理器具、冷蔵庫、炊飯器、電子オーブンレ

	ンジ、電気ポット、各種食器、配膳ワゴン等
延床面積	約 20 m ²
延利用者	777 人

【2階】

⑥ 活動・交流スペース（公益目的事業 1）

会議室 2 室とオープンスペースの部分があり、パーティーションを移動させて一体的に使用することができます。会議室は諸団体が打ち合わせや活動の場所として予約利用となります。オープンスペースは、自由にミニ打合せなどで予約なしで利用できるスペースです。（オープンスペースは現在は感染拡大防止のため会議室との一体利用以外は使用休止）また、登録団体や地区内の様々な団体の活動を紹介する資料を閲覧できるコーナーを設け、地域の文化・歴史などがわかる展示（写真・資料等）地区内の保育園園児等の作品展示、地域ゆかりのアーティストや障害者等の作品展示を行いました。

◆施設概要

開室日時	月曜日～土曜日 午前 9 時から午後 9 時まで 日曜日・祝日 午前 9 時から午後 5 時まで
休日	第 4 日曜日および 12 月 29 日～1 月 3 日
施設貸出	対象
利用方法	団体利用、オープンスペースは個人利用もできます。
アメニティ	テーブル・椅子、ラック等、印刷機
延床面積	約 90 m ²
延利用者	10,671 人

【屋外等の利用】

⑦ 広場

センターの 1 階の交流ゾーン及び 2 階の縁側通路及びスロープと一体となった広場は、地域の住民や団体の交流、ふれあいの拠点であり、様々な地域活動を支える機能を発揮できる施設として利用されています。

【4つの機能】（約 700 m²）

- ア 住民の日常生活を支える憩い・息抜き・遊び・語らいの居場所機能
- イ 指定管理者や地域の諸団体等の主催する催事を実施する会場としての機能
- ウ 地域全体のイベントの場として、地区内外の住民相互の交流機能
- エ 災害時等の一時避難場所や応急活動拠点などの公的機能

⑧ 受付警備（公益目的事業1）

日中、夜間を通してセンター施設内外の案内業務と警備を行い、設備の維持管理を行う他、急病人に対する救急車の要請等などの業務を行っています。

◆施設概要

案内業務 開室日時	月曜日～土曜日 午前9時から午後9時まで 日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
休日	第4日曜日及び元旦
体制	警備員1～2名常駐（24時間体制）

⑨ 自動販売機等の設置（収益事業1）

利用者へのサービスとして、1階ラウンジのリフレッシュコーナー等に飲料の自動販売機（非常時対応用）を設置します。売上本数に応じた設置手数料を収益とします。また、1階ラウンジに有料のコピー機を設置しています。

(5) 自主企画事業（公益目的事業1）

① 自己啓発教室

参加者の自立を支援し、生きがいを持って充実した生活を送れるよう、地域と連携し、寿地区を盛り立てる要素を取り入れた継続性のある講座や、様々なバラエティに富んだ講座を企画し、事業内容、人数、参加規模等、感染拡大防止に配慮した上で、可能な事業について開催しました。「健康づくり」、「生きがいづくり」を主なテーマとし、人と人との触れ合い、交流や健康維持増進・介護予防に役立つ学びの場を提供しました。

◆プログラム

ウォーキング サッカーを 始めてみよう	安全で誰でも手軽にできる「ウォーキングサッカー」の基礎を学び、住民の異世代交流、健康増進に繋げています。11月には、地区内作業所などが参加したウォーキングサッカー大会を開催しました。	4月～3月 43回開催 計1,029人 大会 6チーム参加 87人
ノルディック ウォーキング 講座 & ゴミ拾 い	ノルディックウォーキングの基礎を学び、地区内をウォーキングする他、清掃活動と組み合わせ地域貢献も行います。	ウォーキ ング43回 420人 ゴミ拾い 12月 63人

健康づくり自己啓発講座 (Y.S.C.C.とのコラボ企画) ※	Y.S.C.C等との連携のもと、健康づくりに欠かせない「食育」「からだの痛み」「睡眠」「健康体操」について包括的に体験学習できる講座を月1回、4か月シリーズで年1コース行いました。 食育：管理栄養士指導、からだの痛み、睡眠、 体操：Y.S.C.C.トレーナー指導	4月～3月 9回開催 計303人
健康体操教室	Y.S.C.C.のトレーナーの指導のもと、足腰が弱い高齢者でも無理なく継続できる体操教室を行います。	4/6/7/9月 2回開催 計62人
その他民間コラボ講座	民間企業・団体と協働で、日常生活を豊かにする講座を開催しました。(①グランドゴルフ14回②ラダーゲッター5回③ボッチャ40回④スマホ教室3回⑤書道を学ぼう3回⑥スポ協3回シリーズ2回⑦自分の歯の健康を知ろう14回)	4月～3月 81回 2,887人

※Y.S.C.C. (NPO法人 横浜スポーツアンドカルチャークラブ)
中区本牧に本部を置き、子どもから社会人まで、家族的雰囲気の中で活動するスポーツクラブで、現在J3リーグで活躍しています。

② スマイル事業

誰でも気軽に参加でき、笑顔で楽しめる多様で魅力的なプログラムを実施していくことで、住民相互の交流を深める事業を展開しました。

◆ プログラム

スマイルゴルフ	パターゴルフのように行い、6回打ってボールが的に何個入るのかを点数にして競い合いました。(毎月開催)	11回 207人
スマイル書道クラブ	書を通じてふれ合うとともに、「ことぶき作品展」への出展に向け、上達を目指しました。	10回 174人
工芸クラブ	手芸、工作等を体験してもらい、創作の喜びと、心の活力と安らぎを得られる場としました。	10回 157人
頭脳クラブ	脳トレ、トランプなど頭脳を使ったレクリエーションを実施しました。	3回 46人
映画クラブ	参加者からアンケートなどで人気の高い映画を、ジャンルに変化をもたせ上映しました。	10回 177人
スマイルパター	6個のボールをスタートラインからスティックで打ち、得点合計を競いました。	10回 196人

感染予防レク	感染予防しながらできるレクリエーションと感染予防対策をレクチャーしました。	2回 25人
--------	---------------------------------------	-----------

ことぶき料理教室、うたごえスマイルは休止

③ バラエティ講座

多くの住民が講座への参加を通じて、交流を深め、能動的な社会参加につながるようにします。また、寿地区以外の方にも関心をもってもらえるプログラムも企画しました。

◆プログラム

運動系	○園児サッカー教室 地区内保育園児（年長クラス）を対象に、Y. S. C. C. のトレーナーも指導に参加し、園児の交流ができるサッカー教室を開催しました。	4月～3月 25回開催 計 310人
健康づくり系	○健康講座 コロナ禍において、住民向けに健康づくりや感染症予防のための講座を行いました。 ・生活習慣病について（高血圧症・糖尿病）・夏に向けての健康維持教室（水分補給など）・健康座談会・簡単実演指導	4月～3月 8回 計 114人
文化・娯楽 教養系	・お面づくり講座 4回、お片付け講座 1回、フルイドアート 1回、茶話会（クリスマス会）1回、スマイルいろいろレク 3回、頭脳クラブ（自宅学習用）8回	4月～3月 18回 計 327人

(6) 地域共催事業（公益目的事業 1）

地域の自治会や社会福祉協議会などが主体となって開催された各種事業に参加・協力をいたします。4年度も多くの事業が感染拡大防止の観点から中止となりました。

① ラジオ体操

平日（月～金）朝、住民や関係団体職員等が参加して、センター広場にてラジオ体操を実施しました。

② 地域防災拠点訓練

10月18日、当センター広場にて実施された「寿プラザ地区地域防災拠点運営委員会」主催の地域防災拠点訓練について準備段階から企画運営に参画し、当日の運営に協力しました。当日は、感染拡大防止の観点から各班からの代表

者による参加で、マンホールトイレの設置訓練、水消火器による消火訓練、煙体験訓練、AED訓練、などが実施されました。

③ ことぶき福祉まつり

11月に寿公園で開催予定の寿地区社協主催による福祉まつりは、感染拡大防止の観点から中止となりました。

④ クリスマス行事

12月に開催予定の、寿地区自治会との共催によるセンター1階でツリーの点灯式は中止となりました。

⑤ 大・豆まき大会

1月から2月に、寿地区自治会との共催によりセンター広場で開催予定の豆まき大会は中止となりました。

(7) センター祭り事業（公益目的事業1）

例年11月にセンター祭りを実施しています。新型コロナウイルスの感染拡大状況から令和2・3年は中止しましたが、4年度は3年ぶりに開催することができ、800人を超える来場者で賑わいました。あわせてセンター登録団体などの出展作品による「ことぶき作品展」を実施しました。

(8) 施設維持管理

センター利用者の方々に安心・安全に施設を利用していただくために施設の維持管理等を行いました。

① 建物清掃・管理関係

建物清掃、人的警備、機械警備、電気設備管理、電気保安点検等

② 各種設備点検・整備等関係

消防設備、空調設備、昇降機、自動ドア、受水槽類清掃委託

貯水タンク類保守、衛生害虫駆除、浴場水質検査

(9) センター運営協議会の開催

センターの運営をより効果的かつ地域に密着したものとするため、地元委員、関連施設委員、行政関係者による運営協議会を開催し、意見交換を行いました。

① 開催日 10月25日

② 会場 センター1階会議室

③ 出席者 委員14人 事務局4名

④ 内容

令和4年度センター事業報告、ことぶき協働スペース運営事業について令和3年度の取組みと成果・課題、令和4年度センター事業計画、ことぶき協働スペース2022年度事業計画、質疑と意見交換